

# 就学相談のご案内

令和6年度の受付期間

○小学校入学：令和6年4月17日～10月31日

○中学校入学：令和6年4月22日～5月31日

\*上記期間に下記問合せ先に電話または電子（LoGoフォーム）により受付面接日時の予約等をお願いします。

\*ご不明な点はお問い合わせください。



## 墨田区教育委員会

問合せ先

〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20

墨田区役所 11階

墨田区教育委員会事務局

学務課給食保健・就学相談担当

電話 03-5608-6304

※令和6年11月上旬から、「すみだ保健子育て総合センター」3階『教育センター』に業務が移転します。

住所：墨田区横川5-7-4

電話番号は上記のとおりで変更はありません



# 墨田区の就学相談のご案内

## 1 はじめに

特別支援教育とは、障害のあるお子様の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習における困難を改善または克服するため、適切な指導及び支援を行うための教育です。

墨田区では、特別支援学級（知的障害）、通級指導学級として難聴言語学級（言語障害・聴覚障害）、特別支援教室（発達障害等）を設置しています。また、東京都では特別支援学校（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）を設置しています。

就学相談は、教育・心理・医学などの専門家が、それぞれのお子様の発達の特性や実態を把握した上で審議し、ふさわしいまなびの場について判定し、より適切な支援や教育環境について、保護者と一緒に考えていく場です。




特別支援学校・特別支援学級（通級を含む）・特別支援教室への入学・入級・入室をお考えの方、就学に向け不安を感じている方には就学相談をお勧めします。

※各特別支援の対象となるお子様については、『◆「就学相談」に関してよくいただくご質問（Q&A）』の『Q2：特別支援教育における就学先（学びの場）にはどんなものがありますか？』（9ページ）をご参照ください。

## 2 就学相談の流れ（申込みから支援内容の決定まで）

### （1）受付面接日時の予約（受付期間が小学校入学と中学校入学で違います）

※次の①または②のどちらかで受付面接日時を決めます。

①電話による受付日予約等	②電子(LoGo フォーム)による予約等
就学相談担当に下記期間内に電話をかけていただき、受付面接の日時を決めます。  03-5608-6304 ・小学校入学 令和6年4月17日～10月31日 ・中学校入学 令和6年4月22日～5月31日	該当QRコードにアクセスし、入力していただきます。※受付期間中のみ有効です。 小学校入学 *右記QRコードが読み込めない場合 <a href="https://logoform.jp/f/9LRsn">https://logoform.jp/f/9LRsn</a> 中学校入学 *右記QRコードが読み込めない場合 <a href="https://logoform.jp/f/u8jRr">https://logoform.jp/f/u8jRr</a>  
電話でお聞きする主な内容	Logo フォームで入力する主な内容
○お子様の様子（発達（知能）検査の有無や、愛の手帳等の有無など） ○入学後の支援の希望（特別支援学校・特別支援学級・通級（ことば・きこえ））	左記の項目のほか、「就学相談票」及び「面接票」の内容を入力していただきます。（内容は『様式集』の「就学相談票」、「面接票」をご確認ください。）

特別支援教室など) <input type="checkbox"/> 在籍園や療育機関の利用の有無 <input type="checkbox"/> 受付面接の希望日時	※入力していただいた内容は、データ送信後に画面に表示される <input type="button" value="入力内容を印刷する"/> ボタンからPDF形式で残すことができます。
「面接票」を墨田区のホームページからダウンロードしていただき、記入の上、予約日（受付日）に、ご持参ください。 ＊ダウンロードする環境が無い場合は電話で予約される際にご相談ください。	予約日（受付日）に入力していただいた「就学相談票」及び「面接票」を学務課でプリントアウトし、確認していただきます。

## （２）受付面接

（１）で決めた日時に、墨田区役所 11階学務課にお越しください。

①電話による受付予約をされた方	②電子(LoGo フォーム)で入力済の方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「就学支援ファイル」及び「就学相談票」を記入していただきます。</li> <li>・ご持参いただいた「面接票」の内容を確認させていただきます。</li> <li>・手帳や検査結果をお持ちの方はコピーを取らせていただきます。</li> <li>・その後の流れのご説明や日程調整をさせていただきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「就学支援ファイル」を記入していただきます。</li> <li>・「就学相談票」及び「面接票」をご確認いただくとともに、内容を確認させていただきます。</li> <li>・手帳や検査結果をお持ちの方はコピーを取らせていただきます。</li> <li>・その後の流れのご説明や日程調整をさせていただきます。</li> </ul>
持ち物	持ち物
<input type="checkbox"/> 記入済みの面接票（ダウンロードした方） <input type="checkbox"/> 母子健康手帳 <input type="checkbox"/> 愛の手帳（交付されている方） <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳（交付されている方） <input type="checkbox"/> 心理検査（知能検査）の結果（受けたことがある方）	<input type="checkbox"/> 母子健康手帳 <input type="checkbox"/> 愛の手帳（交付されている方） <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳（交付されている方） <input type="checkbox"/> 心理検査（知能検査）の結果（受けたことがある方）

## （３）教育相談室（すみだ生涯学習センターA棟4階）での心理検査及び行動観察等

以下の①及び②の2回、別日になりますが、検査や行動観察等があります。状況により、どちらか一方になる場合や、①・②の順番が入れ替わる場合があります。

①心理検査実施または検査結果をお持ちの方はお子様の様子の聞き取り心理検査を実施する方はお子様をお連れください。  
 おおよそ1年以内に他機関での心理検査を受けている方で、結果を提出していただいた方は保護者の方のみお越しください。  
 ＊検査実施の有無については受付面接時にお伝えします。

## ②専門医との面談及び行動観察

専門医との面談及び小集団（3～5人）でのお子様の様子を見させていただきます。

### （４）在籍園（幼稚園・保育園等）または在籍小学校からお子様の様子（身辺自立や他者との関わり方、小学校 6 年生は学習の状況等）について資料を取り寄せます。

小学校に入学のお子様については療育機関の「みつばち園」・「にじの子」からも療育での様子を聞き取ります。（保護者了承の上）

### （５）就学相談委員会で検討

すべての資料を基に検討し、お子様の力を最大限延ばすことのできる学びの場を判定します。

### （６）結果の面接

就学相談委員会の判定結果をお伝えします。（区役所 1 1 階 学務課にて）

### （７）検討体験等の実施（必要な場合）

就学相談委員会での判定が、特別支援学校または特別支援学級の場合、検討のための体験を行っていただく場合があります。

また、特別支援学校の判定となり、特別支援学校への入学を希望する場合は、入学予定校での体験を行っていただきます。

### （８）就学後の支援方法の決定

就学相談委員会の判定と保護者とご本人の意向確認などの結果、お子様の支援方法等を決定します。

## 3 「就学後の支援方法」決定後の支援方法ごとの流れ

### （１）特別支援学校（知的・肢体・視覚・聴覚・病弱）

入学予定校での体験等の後、東京都に就学支援ファイルを引き継ぎます。入学予定校から連絡があり、その後の手続き等の説明があります。

#### ※副籍制度について

副籍制度とは「都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の区立小・中学校（地域指定校）に副次的な籍（副籍）を持ち、直接的または間接的な交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る取組」のことです。

特別支援学校に入学させたいというご意思が決まりましたら、「副籍交流

希望書」を提出していただきます。その際に、交流の希望（直接交流・間接交流・交流を希望しない）をお聞きします。なお、地域指定校については、副籍制度の趣旨を踏まえ、原則として区で定めている通学区域内の小学校または中学校となります。

## （２）特別支援学級（知的）

入学予定校が決まりましたら、学級での入級体験があります。

学務課が、保護者と学校との日程調整を行います。

その他に学校で新１年生の説明会等があります。

※小学校の通学は安全確保のため、一人で登下校が可能になるまで、保護者の送迎が必要です。

## （３）通級指導学級（ことばの教室・きこえの教室・難聴学級）

入学予定校が決まりましたら、入学校を担当する学校（『通級指導学級担当校一覧』８ページを参照）に、保護者からご連絡ください。

入学前にそれぞれの通級指導学級で面接等を行います。

※設置校以外に在籍する児童（小学校）の通級時には、安全確保のため保護者の送迎が必要です。

## （４）特別支援教室（発達障害等）

\*墨田区では、小学校は「まなびの教室」中学校は「ゆうあい教室」と呼んでいます。

入学予定校が決まりましたら、入学校を担当する拠点校（『特別支援教室拠点校及び巡回指導校』８ページを参照）から保護者に連絡します。

入学前に拠点校で面接等を行います。

## （５）通常学級（通級・特別支援教室での指導は必要ない）

入学予定校が決まりましたら、就学支援ファイル（就学相談の資料）を入学予定校に送付します。

# ４ 入学後の相談等

入学後もそれぞれのお子様が安心して登校し学んでいくために、学校から保護者の方にご相談やご協力をお願いする場合があります。また、お子様の入学後の様子によっては、学びの場（支援内容）についても、現状とは違う支援についてご相談させていただくことがあります。

また、ご家庭でのお子様の様子などから、お子様にとって現在の支援内容が適切ではないとお考えの場合は、学校（担任・管理職等）にご相談ください。

各学校には特別支援教育コーディネーターを担う教員が配置されており、管理職（校長・副校長）を含めた校内委員会を定期的に開催し、個々の児童生徒について適切な支援方法について検討しています。

○校内委員会の結果により、他の支援が必要との場合、次のとおりとなります。

- (1) 通常学級または特別支援学級(知的)もしくは特別支援学校間の転学の場合には、学務課への転学相談が必要になります。その後、検査等の結果を参考に就学相談委員会で転学が適当かを判定します。
- (2) 通級(ことば・きこえ・難聴)への入級の場合は、通級設置校での面接や検査の結果等を参考に入級対象か否かを判定します。
- (3) 特別支援教室(情緒等)への入室については、発達検査結果や学校が作成した資料等を参考に、教育委員会で行っている判定会で、入室対象か否かを判定します。

## 5 就学支援シート「かがやき」について

小学校入学にあたり、お子様の今までの成長や気になる点を学校につなげるため、保護者と就学前機関(幼稚園・保育園・療育機関等)で協力して作成するシートです。シートを活用することにより、お子様の個性をあらかじめ小学校に伝えることができます。

シートはホームページにあるほか、学務課、区内の幼稚園・保育園・療育機関等で配布しています。

就学相談を申し込んでいない方もご利用いただけます。

### ○学校へ提出するまでの流れ

- (1) 表紙と保護者記入欄に記入します。
- (2) 幼稚園・保育園等や療育機関等に記入を依頼します。  
\*書ききれない場合は別紙を付けていただいても構いませんがシートから離れないよう糊付けするなどが必要です。
- (3) 最後に保護者が確認日(学校に提出する日)と氏名を記入します。
- (4) 入学する学校が指定する日に学校に提出してください。

様式は区のホームページからのダウンロードも可能です。

就学支援シート

# かがやき

～ 楽しい学校生活のために ～

この「就学支援シート」は、小学校入学にあたり、お子様の今までの成長や気になる点を学校につなげるため、保護者と就学前機関(幼稚園・保育園・療育機関等)で協力して作成するシートです。  
シートを活用することによって、お子様の個性をあらかじめ小学校に伝えることができます。  
学校生活が楽しくスムーズに始められるように、ぜひこのシートを活用してください。

お子さんの氏名	姓	名
保護者の氏名	姓	名
連絡先(電話)		

墨田区教育委員会

右のQRコードを読み込んでいただくか  
以下のURLにアクセスをお願いします。



[https://www.city.sumida.lg.jp/kosodate\\_kyouiku/kyouiku/school/tokubetsushien/kagayaki\\_sheet.html](https://www.city.sumida.lg.jp/kosodate_kyouiku/kyouiku/school/tokubetsushien/kagayaki_sheet.html)



## 墨田区の小・中学校特別支援学級一覧

種別	学校名	所在地	学校電話	学級直通	備考(学級名など)	
特別支援学級	小	緑小学校	緑2-12-12	3634-6876	3634-2367	知的障害 (みどり)
		外手小学校	本所2-1-16	3625-0301	3625-3468	〃 (わかたけ)
		中和小学校	菊川1-18-10	3634-7476	3634-7550	〃 (そよかぜ)
		業平小学校	業平2-4-8	3625-0331	3625-9070	〃 (さくら)
		第四吾嬬小学校	京島3-64-9	3617-0232	3617-5145	〃 (たんぼぼ)
		第一寺島小学校	東向島1-16-2	3614-0103	3614-0108	〃 (ひまわり)
		第二寺島小学校	東向島4-30-2	3614-0105	3614-3465	〃 (くすのき)
		隅田小学校	墨田4-6-5	3614-0203	3614-0205	〃 (なかよし)
		立花吾嬬の森小学校	立花1-18-6	3618-4911	3618-4915	〃 (なのはな)
	中	墨田中学校	向島4-25-22	3625-0351	3625-0369	知的障害
		本所中学校	東駒形3-1-10	3625-0355	3625-1643	
		豎川中学校	亀沢4-11-15	3625-0365	3625-2740	
		吾嬬第二中学校	八広4-4-4	3617-2180	3619-1160	
		寺島中学校	八広1-17-15	3617-0537	3617-5820	
通級指導学級	小	言問小学校	向島5-40-14	3625-0315	3625-5204	聴覚障害 (きこえの教室)
		言問小学校	向島5-40-14	3625-0315	3625-5557	言語障害 (ことばの教室)
		柳島小学校	横川5-2-30	3625-0325	3622-7702	
		押上小学校	押上3-46-17	3617-8325	3617-6925	
	中	桜堤中学校	堤通2-19-1	3616-5630	3614-2968	聴覚障害 (難聴学級)
特別支援教室(巡回拠点校)	小	外手小学校	本所2-1-16	3625-0301	3625-0310	情緒障害等：各校設置 小学校(まなびの教室) 中学校(ゆうあい教室)
		錦糸小学校	錦糸1-9-12	3625-0311	3625-0831	
		言問小学校	向島5-40-14	3625-0315	3625-0707	
		両国小学校	両国4-26-6	3634-7876	3634-7887	
		菊川小学校	立川4-12-15	3634-8176	3634-8182	
		第三寺島小学校	東向島6-8-1	3614-0201	3612-0626	
		中川小学校	立花5-49-4	3617-7921	3614-3350	
		押上小学校	押上3-46-17	3617-8325	3613-3022	
	梅若小学校	墨田2-25-1	3614-6913	3614-0788		
	中	両国中学校	横網1-8-1	3625-0361	5619-2670	
吾嬬立花中学校		立花5-48-2	3616-2271	3617-7956		

## 近隣の東京都立特別支援学校

学校名	所在地	電話	備考
墨田特別支援学校(※)	墨田区八広5-10-2	3619-4851	知的障害 (小中高)
城東特別支援学校(※)	江東区大島6-7-3	3683-6230	知的障害 (小中)
墨東特別支援学校	江東区猿江2-16-18	3634-8431	肢体不自由・病弱(小中高)
葛飾盲学校	葛飾区堀切7-31-5	3604-6435	視覚障害 (幼小中・寄宿舎有)
大塚ろう学校(城東分教室)	江東区大島6-7-3	3685-9100	聴覚障害 (幼小)
葛飾ろう学校	葛飾区西亀有2-58-1	3606-0121	聴覚障害 (幼小中高)

(※)通学区域があります。詳細は各校へお問い合わせください。

## 通級指導学級担当校一覧

※設置校以外に在籍する児童（小学校）が指導を受ける場合には保護者の設置校への送迎が必要です。

ことばの教室	
設置校	担当校
言問小学校	言問小・小梅小・梅若小・隅田小・第一寺島小・第二寺島小・第三寺島小
押上小学校	押上小・東吾孺小・曳舟小・八広小・中川小・第三吾孺小・第四吾孺小・立花吾孺の森小
柳島小学校	柳島小・二葉小・外手小・緑小・両国小・菊川小・横川小・錦糸小・業平小・中和小

きこえの教室・難聴学級	
設置校	担当校
言問小学校	墨田区立全小学校
桜堤中学校	墨田区立全中学校

## 特別支援教室 拠点校及び巡回指導校

	拠点校	巡回校
小 学 校	外手小学校	外手小・業平小・横川小
	錦糸小学校	錦糸小・柳島小
	言問小学校	言問小・小梅小・第一寺島小
	両国小学校	両国小・緑小・二葉小
	菊川小学校	菊川小・中和小
	第三寺島小学校	第三寺島小・第三吾孺小・八広小
	中川小学校	中川小・東吾孺小・立花吾孺の森小
	押上小学校	押上小・第四吾孺小・曳舟小
中 学 校	梅若小学校	梅若小・第二寺島小・隅田小
	両国中学校	両国中・本所中・豎川中・錦糸中
	吾孺立花中学校	吾孺立花中・墨田中・吾孺第二中・寺島中・文花中・桜堤中



◆「就学相談」に関してよくいただくご質問（Q&A）



**Q 1：就学相談では何を相談するのですか？**

A 1：墨田区ではお子様の心身の状態や発達段階、障害の特性などに応じて、特別な教育の場（学びの場）を設けています。小学校入学前や小学校から中学校への進学  
の機会に、個々のお子様の心配事・困り事についてご相談いただき、お子様に適  
した学びの場につなげるための機会が就学相談です。お子様についてお話を聞か  
せていただき、発達検査や行動観察などを行い、各分野の専門家で組織される就  
学相談委員会での審議を経た判断・結果により、お子様に適した就学先（学びの  
場）を選択していただきます。

なお、就学相談の結果、「特別な支援は必要ない（通常学級のみ）」と判断される  
場合もあります。

**Q 2：特別支援教育における就学先（学びの場）にはどんなものがありますか？**

A 2：特別支援教育における就学先は、下表のとおりです。

就学先 (学びの場)	対象となる児童・生徒及び指導の概要
通級指導学級 (難聴・言語障害) ※ことばの教室は 小学校のみ設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>ことば（話し方等）やきこえ（難聴等）に課題があるものの、知的発達に遅れはなく、おおむね通常学級で授業を受けられる児童・生徒が対象です。</li> <li>ほとんどの時間を通常の学級で過ごし、週に1～2回程度、ことば（きこえ）の教室（他校の場合があります。）に通って指導を受けます。</li> </ul>
特別支援教室 (発達障害等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的発達に遅れはないものの、主に発達障害（疑い・傾向を含む）があることにより学校生活に課題がある児童・生徒が対象です。</li> <li>ほとんどの時間を通常の学級で過ごし、週に1～2回程度、特別支援教室(各学校内)に移動して指導を受けます。</li> </ul>
特別支援学級 (知的障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的発達に遅れがある児童・生徒が対象です。</li> <li>対象となる児童・生徒で構成される学級において、日々の授業を受けます。</li> </ul>
都立特別支援学校 (知的障害・肢体 不自由・病弱・視覚 障害・聴覚障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(知的障害・肢体不自由その他対象となる) 障害等の程度が比較的重い児童・生徒が対象です。</li> <li>特別支援学校は、重度の障害のある児童・生徒にも対応するための学校設備が充実しており、指導の教員や介助支援の職員も多く配置されています。</li> </ul>

**Q 3 : 就学相談をした場合、その判定結果で示された就学先（都立特別支援学校、特別支援学級（知的）、特別支援教室等の「学びの場」）に就学しなくてはならないのですか？**

A 3 : 就学相談ではお子様の障害による困難を克服し自立を図るために必要な支援（学びの場）について、就学相談委員会の判定結果をもとに、保護者との合意形成をしながら、就学先を決めています。そのため、示された就学先に就学しなくてはならないということはありません。

**Q 4 : 相談の結果の判断とは異なる選択をした場合、何か影響はありますか？**

A 4 : 就学相談の判定とは異なる教育環境を選択された場合には、必要に応じて就学後も適宜、在籍校とも連携しながら、継続して相談を続けることは可能です。

**Q 5 : 特別支援学級は、学校によって障害の種別や程度に差がありますか？**

A 5 : 墨田区の特別支援学級は、基本的には「知的障害」の特別支援学級です。区立小・中学校 14 校にある特別支援学級の対象児童・生徒の要件は同じです。

**Q 6 : 特別支援学級には通学区域が決められていますか？**

A 6 : 特別支援学級には、原則として通学区域を設けていません。ただし、小学校の特別支援学級については、登下校時等の安全面の観点から保護者の送迎を必要としていますので、その点も考慮した上で学校の選択をご検討ください。なお、学校側の受け入れ態勢の状況（入学希望者が受け入れ可能数を超えた場合等）により、入学校がご希望どおりにならない場合があります。

**Q 7 : 特別支援学級の定員は決められていますか？**

A 7 : 特別支援学級の定員は、(学年ごとではなく) 全学年で 8 人と決められています。これにより小学校の場合は、1 年生から 6 年生までの全員で 9 人になれば、2 学級となります（ただし、施設の大きさ、その他の条件により学級を増やせないことがあります）。教員は児童数が 3 人以上であれば、学級数プラス 1 人が配置されます。その他に介助員が配置されます。また都立特別支援学校の学級編成は、1 学級で定員は 6 人ですが状況により違う場合もあります。

**Q 8 : 特別支援学級から通常学級への転籍や東京都立特別支援学校に転校することはできますか？**

A 8 : お子様の状況（課題の増・減）等により、就学先の変更（転学）の必要性を感じましたら、まずは担任の先生や校長先生に相談してください。そして転学が望まし

いと考えられる場合には、学務課で「転学相談」をお受けします。その結果、お子様にとって転学が必要という判断となりましたら、転学が可能となります。ただし、実際の転学までには相当の時間を要しますことをご了承ください。

**Q 9 : 特別支援教室（小学校「まなびの教室」、中学校「ゆうあい教室」）の入室の要件は決められていますか？**

A 9 : 特別支援教室の利用対象となる児童・生徒の要件は次のとおり決められています。

- ① 知的発達の遅れはなく、通常学級の学習におおむね参加できるものの、学校生活に何らかの課題（発達障害・特性に基づく学校生活の適応に対する課題）があること。
- ② 「自閉症スペクトラム」、「注意欠如多動症（ADHD）」、「学習症（LD）」、「情緒障害」の診断等（疑いや傾向も含みます。）がされていること。
- ③ ①及び②の状況から、課題の克服（解決・減少）を目的に行う特別支援教室での（週に1回～2回程度の）特別な指導を必要としており、また指導を受ける意思があること。

**Q 10 : 特別支援教室では、どのような指導をしているのですか？学習の補充はしてもらえますか？**

A 10 : 特別支援教室では、「学習の補充」は行いません。

個々のお子様の持つ課題に合わせて、「課題の克服を目指した指導」を行います。指導教員と1対1の個別指導や複数の児童・生徒と一緒にいる小集団指導等があります。

**Q 11 : 特別支援教室の「拠点校」や「巡回校」とは何ですか？**

A 11 : 特別支援教室は、区立小学校を9グループ、区立中学校を2グループに分け、各グループ内の1校を拠点校として設置しています。各拠点校に配置された指導教員が、拠点校からグループ内の各巡回校を巡回して指導しています。

なお、指導内容については、拠点校と巡回校に差はありません。

**Q 12 : ことばの教室を希望しています。入学予定の学校にはことばの教室が設置されていないのですが、ことばの教室にも通学（通級）区域が決められていますか？**

A 12 : ことばの教室は小学校3校に設置しており、在籍校（通学校）ごとに通級区域（ことばの教室）を決めています。なお、他校から通級される際には、登下校時等の安全面の観点から、保護者の送迎が必要です。

**Q 1 3 : 特別支援学級（知的）と特別支援教室や通級指導学級（ことば・きこえ）の併用はできますか？**

A 1 3 : 特別支援教室や通級指導学級は通常の学級に在籍しながら利用する支援です。そのため、特別支援学級（知的）と特別支援教室や通級指導学級の併用はできません。

**Q 1 4 : 特別支援教室と通級指導学級（ことば・きこえ）の併用はできますか？**

A 1 4 : 原則として、併用はできません。通級（特別支援教室・通級指導学級（ことば・きこえ））による指導は、在籍学級での授業時間内または放課後に指導を行っており、お子様にとって負担となる可能性が考えられます。そのため、お子様の状態に応じて通級による指導の必要性について、またどの指導を行うことがより望ましいかを検討することになります。

**Q 1 5 : 入学前に就学相談を申し込まずに、入学してから特別支援教室に通うことはできますか？**

A 1 5 : 入学後に特別支援教室の入室を希望される場合は、まずは担任の先生にご相談ください。その後は学校内で検討を行い、専門医の意見や発達検査等の結果に基づき、お子様にとって支援が必要との判断になれば、利用することが可能です。ただし、判定結果が出て利用できるようになるまでには相当の時間がかかりますので、入学・進学前に必要性をお感じになる場合には、ぜひ事前に就学相談をお申し込みください。

**Q 1 6 : 特別支援学級に入った子どもたちの進路について教えてください。**

A 1 6 : 特別支援学級では、勉強と同時に社会に出て将来自立できる力をつける教育も重視しています。身の回りのことを自分でできるようにする生活の時間や、体育の時間数が多かったりするのはそのためです。一人ひとりの能力に応じた学習のプログラムによって少しずつ力を伸ばし、自立の基礎を養います。中学校でも継続して特別支援学級で学ぶお子様が大半です。さらに中学校の特別支援学級を卒業した生徒の多くは、特別支援学校の高等部に進学しています。その際、「愛の手帳」の交付を受けているまたは専門医の診断書が必要になります。

# 就学相談様式集

- 1 様式1 就学相談票 (小・中学校共通様式)
- 2 様式2 面接票 (小・中学校共通様式)
  - (1) (墨田) 様式2-1 (小学校入学時用)
  - (2) (墨田) 様式2-2 (中学校入学時用)
- 3 副籍様式2 副籍交流希望書 (特別支援学校入学者)
- 4 就学支援ファイル (小・中学校共通様式)
- 5 就学支援シート「かがやき」

# 就学相談票

## 1 現在の教育等

現在通っている保育園・幼稚園、療育・相談機関、学校等		
	名 称	利 用 期 間
保育園・幼稚園		年 月～
療育・相談機関		年 月～
		年 月～
学 校	立 学校	第6学年在学
そ の 他		

## 2 就学を希望する学校（就学相談開始時点の希望校）

就 学 を 希 望 す る 学 校		
区市町村立学校	立 学校	通常の学級・特別支援学級（固定）
	立 学校	通常の学級・特別支援学級（固定）
	( ) の 通級指導学級の利用を希望する	立 学校 学級
	立 学校	肢・知
特別支援学校	都立 学校	
	都立 学校	
	都立 学校	肢・知・病・訪
	都立 学校	肢・知・病・訪

## 3 手帳の有無

手 帳	愛の手帳（ 度）	なし	身体障害者手帳（ 種 級）	なし
	療育手帳（ ） 年 月 日交付	申請中	年 月 日交付	申請中

## 4 就学相談資料等の学校送付の意思確認

就学相談で作成した

①面接票 ②実態把握票 ③医師診察記録 ④就学相談資料  
⑤実施した諸検査の結果 を就学する学校に送付することに  
同意します 同意しません

< (①・②・③・④・⑤) の資料だけを送付して下さい。 >

保護者氏名 印

（こちらの面は保護者の方に記入してもらいます）

# 面接票

様式2

児童・生徒氏名： \_\_\_\_\_

記入者： \_\_\_\_\_

記入日： 令和 年 月 日

現在の様子 ☆家庭や園・学校で ・困っていること ・気になること	
---	--

現在の健康状態や成長・発達の様子など

現在の身長・体重	身長                      cm	体重                      Kg
出生時のようす	出生時身長                      cm	出生時体重                      g
	【特記事項】	
発育のようす	①首のすわり                      歳    カ月	②寝返り                      歳    カ月
	③おすわり                      歳    カ月	④はいはい                      歳    カ月
	⑤つかまり立ち                      歳    カ月	⑥歩き始め                      歳    カ月
	⑦発語                      歳    カ月	⑧人見知り                      歳    カ月・無し
	【特記事項】 * 1歳半健診・3歳児健診で何か言われたことが（ある・ない） 【療育に通うきっかけ】	
育児の上で 気になったこと	<input type="checkbox"/> 視線が合わなかった <input type="checkbox"/> 人見知りをしなかった <input type="checkbox"/> 動作の模倣が少なかった <input type="checkbox"/> 指さし（共同注視）をしなかった <input type="checkbox"/> 抱かれることを嫌がった（抱きにくかった） <input type="checkbox"/> 母親の後追いをしなかった <input type="checkbox"/> 昼寝をしない、眠りが浅い、夜泣き <input type="checkbox"/> 育てやすくおとなしかった <input type="checkbox"/> とても手がかかった <input type="checkbox"/> その他（                      ）	

診断名(病名等)	(診断を受けた病院等：                      )
----------	------------------------------------

医療について	医療機関名 (定期的に通院している機関)	①	(                      科)	
		②	(                      科)	
		③	(                      科)	
	医療的ケア (あり・なし)	内容	吸引 ・ 経管栄養 ・ 胃ろう ・ 腸ろう ・ 導尿 その他 (                      )	
	発作 (あり・なし)	服薬	①薬剤名：	(朝・昼・夕・晩)
			②薬剤名：	(朝・昼・夕・晩)
	アレルギー (あり・なし)		③薬剤名：	(朝・昼・夕・晩)
		④薬剤名：	(朝・昼・夕・晩)	
【学校生活を送る上での配慮事項】 * 発作の症状・アレルギー食品など				

諸検査の記録	これまでに実施した発達検査・知能検査	実施機関	実施時期
	新版K式発達検査 (あり(DQ:                      )・なし)		年 月
	田中ビネーV (あり(IQ:                      )・なし)		年 月
	WISC-IV・WISC-V (あり(FSIQ:                      )・なし)		年 月
			年 月

I 身 辺 自 立	<p>※以下の項目は ( ) の該当する箇所に○を付けてください。</p> <p>ー衣服 [ 1.着脱 (自立・一部介助・介助) 2.ボタン (自立・介助) 3.靴 (自立・介助) ]</p> <p>ー食事 [ 1.スプーン・フォーク (自立・練習中・介助) 2.箸 (自立・練習中・介助) 3.偏食 (あり・なし) ]</p> <p>ー排泄 [ 1.小便 (自立・一部介助・介助) 2.大便 (自立・一部介助・介助) 3.全介助 4.オムツの着用 (日中・夜のみ・大便時) ]</p>
II 行 動 面 に つ い て	<p>※以下の項目は [はい・いいえ] に○を付けてください。</p> <p>[ はい・いいえ ] 落ち着きなく行動することがある(じっとしてられない、不注意等)。 "はい"の場合、具体的に [ ]</p> <p>[ はい・いいえ ] 安全に気をつけながら道路を歩くことができる。</p> <p>[ はい・いいえ ] 信号など簡単な交通ルールが理解できる。</p> <p>[ はい・いいえ ] こだわりがある。 "はい"の場合、該当するものに○をして下さい。 [ 1.感覚過敏(音・におい) 2.順序や位置(物・事) 3.新規場面の苦手さ(場所・人・事) 4.その他 [ ] ]</p> <p>[ はい・いいえ ] 手先や運動面での不器用さがある。 "はい"の場合、具体的に [ ]</p>
III 言 語 発 達 ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	<p>[ はい・いいえ ] 自分の気持ちや意思を周囲に伝えることができる。 "はい"の場合、該当するものに○をして下さい。 [ 1.言葉で伝える 2.表情やジェスチャーで伝える 3.泣いて訴える 4.その他 [ ] ]</p> <p>[ はい・いいえ ] 要求が通らないと、かんしゃくを起こすことがある。 "はい"の場合、家や在籍園で気持ちの切り替え等で工夫していることを具体的に。 [ ]</p> <p>[ はい・いいえ ] 言葉を話すことができる。 "いいえ"の場合、「IV学習面」の質問へ移動して下さい。 "はい"の場合、該当するものに○をして下さい。 [ 文章で話す・二語文で話す・単語で話す ]</p> <p>[ はい・いいえ ] 発音で聞き取りにくいところがある。 "はい"の場合、具体的に [ ]</p> <p>[ はい・いいえ ] 日常的な言葉での指示が理解できる。</p> <p>[ はい・いいえ ] 見たり聞いたりしたことを自分から話す。</p> <p>言葉のやり取りについて該当する箇所に○をしてください。 [ 1.かみ合う 2.かみ合わない 3.一方的に話す 4.応じない ]</p>



IV 学習 面	<p>[はい・いいえ] 文字・数への関心がある。</p> <p>[はい・いいえ] ひらがなや数字のひろい読みができる。</p> <p>[はい・いいえ] 自分の名前が書ける。</p> <p>[はい・いいえ] 簡単な形（○や△）が書ける。</p>
V 遊 び	<p>[はい・いいえ] ままごとなどのごっこ遊びができる。</p> <p>[はい・いいえ] “鬼ごっこ”や“だるまさんが転んだ”等のルールを理解して遊ぶことができる。</p> <p>好きな遊びについて該当する箇所に○をして下さい。</p> <p>[ 1.鬼ごっこやかくれんぼ 2.お人形やままごと 3.ゲーム 4.ボール遊び 5.その他〔 〕 ]</p> <p>[はい・いいえ] 他の子と一緒に遊ぶことが多い。</p>
VI 在 籍 園 で の 様 子	<p>[はい・いいえ] 先生から全体への指示を理解し、正しく行動できる。</p> <p>"いいえ"の場合、具体的に〔 〕</p> <p>[はい・いいえ] 周りを見て行動できる。</p> <p>[はい・いいえ] 静かに座って話を聞くことができる。</p> <p>[はい・いいえ] ひとつの活動に落ち着いて取り組むことができる。</p> <p>[はい・いいえ] 集団活動（運動会・お遊戯会等）に参加することができる。</p> <p>"いいえ"の場合、具体的に〔 〕</p> <p>[はい・いいえ] 次の活動に移る際、スムーズに切り替えることができる。</p> <p>"いいえ"の場合、具体的に〔 〕</p> <p>友達との関わり方について該当する箇所に○をしてください。</p> <p>[ 1.自分から関わる 2.誘われれば遊ぶ 3.1人遊びが多い ]</p> <p>友達とトラブルになる場合、どのようなことが多いですか？</p> <p>具体的に〔 〕</p>
VII そ の 他	<p>[はい・いいえ] 今後、就学相談以外で知能検査を受ける予定がある。</p> <p>"はい"の場合、時期と実施機関名〔 〕</p> <p>[はい・いいえ] 保護者と別室で検査を受けることができる。</p> <p>就学相談を申し込むきっかけについて記入してください。</p> <p>[ 1.ポスターやホームページを見て 2.保育園・幼稚園に勧められて 3.療育機関等に勧められて 4.その他〔 〕 ]</p>

※以下は教育相談室で記入します。

【教育相談室】	面談日	年	月	日	記入者
<p>1 追加記載事項はなし</p> <p>2 追加記載事項は別紙のとおり</p>					

中 ( ) 児童名

I 身 辺 自 立	<p>※以下の項目は ( ) の該当する箇所に○を付けてください。</p> <p>-衣服 [1.着脱(自立・一部介助・介助) 2.ボタン(自立・介助) 3.靴(自立・介助)]</p> <p>-食事 [1.スプーン・フォーク(自立・介助) 2.箸(自立・介助) 3.偏食(あり・なし)]</p> <p>-排泄 [1.小便(自立・一部介助・介助) 2.大便(自立・一部介助・介助) 3.全介助]</p>
II 行 動 面 に つ い て	<p>※以下の項目は [はい・いいえ] に○を付け、必要に応じて回答欄に記入してください。</p> <p>[はい・いいえ] 落ち着きなく行動することがある(じっとしてられない、不注意等)。 "はい"の場合、具体的に [ ]</p> <p>[はい・いいえ] 安全に気をつけながら道路を歩くことができる。</p> <p>[はい・いいえ] 通学に付き添いが必要である。</p> <p>[はい・いいえ] 信号など簡単な交通ルールが理解できる。</p> <p>[はい・いいえ] こだわりがある。 "はい"の場合、該当するものに○をして下さい。 [1.感覚過敏(音・におい) 2.順序や位置(物・事) 3.新規場面の苦手さ(場所・人・事) 4.その他 [ ] ]</p> <p>[はい・いいえ] 手先や運動面での不器用さがある。 "はい"の場合、具体的に [ ]</p> <p>[はい・いいえ] 時間に合わせて計画的に行動できる。</p> <p>[はい・いいえ] 地域の行事や催しに親が付き添わなくても子ども同士で参加できる。</p> <p>[はい・いいえ] 行き慣れたところなら、ひとりで行って帰ってこられる。</p> <p>[はい・いいえ] 少額の買い物なら言われたとおりに買ってこられる。</p>
III コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ・ 遊 び	<p>[はい・いいえ] 日常的な言葉での指示が理解できる。</p> <p>[はい・いいえ] 見たり聞いたりしたことを自分から話すことができる。</p> <p>[はい・いいえ] 自分の気持ちや意思を周囲に伝えることができる。</p> <p>※手段として [言葉で伝える・表情やジェスチャーで伝える・泣いて訴える] その他 [ ]</p> <p>好きな遊び(趣味など)を記入してください。 [ ]</p>
IV 学 習 面	<p>好きな(得意な)科目は [ ]</p> <p>嫌いな(苦手な)科目は [ ]</p> <p>学習面で気になること、配慮が必要と思われることについて、自由にお書きください。 [ ]</p>

V  
在籍校での様子

[はい・いいえ] 先生から全体への指示を理解し、正しく行動できる。  
 "いいえ"の場合、具体的に〔 〕

[はい・いいえ] 周りを見て行動できる。

[はい・いいえ] 静かに座って話を聞くことができる。

[はい・いいえ] ひとつの課題や活動に落ち着いて取り組むことができる。

[はい・いいえ] 集団活動（運動会・発表会等）に参加することができる。  
 "いいえ"の場合、具体的に〔 〕

[はい・いいえ] 次の活動に移る際、スムーズに切り替えることができる。  
 "いいえ"の場合、具体的に〔 〕

友達との関わり方について該当する箇所に○をしてください。  
 [1.自分から関わる 2.誘われれば遊ぶ 3.1人遊びが多い]

友達とトラブルになる場合、どのようなことが多いですか？  
 具体的に〔 〕

VI  
その他

[はい・いいえ] 今後、就学相談以外で知能検査を受ける予定がある。  
 "はい"の場合、時期と実施機関名〔 〕

[はい・いいえ] 保護者と別室で検査を受けることができる。

[はい・いいえ] 小学校就学前に就学相談を申し込んだ。

[はい・いいえ] 小学校在学中に転学相談をしたことがある。  
 "はい"の場合、〔(通常・固定・支援校)から(通常・固定・支援校) 小学 年生のとき〕

[はい・いいえ] 小学校在学中で通級指導学級を利用したことがある。  
 "はい"の場合、いつからいつまでですか \*特別支援教室は「まなびの教室」と呼ばれています  
 〔ことば・きこえ・特別支援教室(情緒) 小学 年生 ～ 年生まで〕

就学相談を申し込むきっかけについて記入してください。  
 [1.ポスターやホームページを見て 2.学校で勧められて  
 3.その他〔 〕]

※以下は教育相談室で記入します。

【教育相談室】	面談日	年	月	日	記入者
1	追加記載事項はなし				
2	追加記載事項は別紙のとおり				

## 令和 年度 副籍交流希望書

記入日 令和 年 月 日

フリガナ 児童・生徒名	性別 ( )
保護者	氏名 住所 電話 ( )
地域指定校 (予定)	立 学校
希望する交流活動 の主な内容 (該当する項目に ○を記入する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接的な交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>( ) 行事等における交流 (行事名: )</li> <li>( ) 教科等の交流及び共同学習 (教科名: )</li> <li>( ) その他 ( )</li> </ul> </li> <li>・間接的な交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>( ) 学校便りの交換 ( ) 学年便りの交換 ( ) 学級便りの交換</li> <li>( ) その他 ( )</li> </ul> </li> <li>・交流活動は希望しない ( )</li> </ul>
交流活動に関する 希望等	※交流活動に関する希望等があればお書きください。

※ 記入日現在の保護者の希望を御記入ください。

※ 本希望書は、都立特別支援学校と地域指定校とが、交流活動の具体的内容について協議・調整する際の参考といたします。

# 就学支援ファイル

フリガナ		性別	生年月日・年齢
お子さんの氏名			年 月 日生 ( ) 歳
フリガナ		お子さんとの 続柄	
世帯主の氏名			
お子さんの 住所	〒 電 話 ( ) 東京都墨田区		
緊急時の連絡先	電 話 ( )		

区市町村教育委員会記入欄

<p>受付年月日</p>	<p>平成 年 月 日</p>	<p>受付番号</p>	
<p>地区名 (区市町村名)</p>	<p>墨田区</p>	<p>教育委員会名 電 話 事務取扱者名</p>	<p>墨田区教育委員会 03-5608-6304 草薙 京子</p>

# かがやき

～ 楽しい学校生活のために ～

この「就学支援シート」は、小学校入学にあたり、お子さんの今までの成長や気になる点を学校につなげるため、保護者と就学前機関（幼稚園・保育園・療育機関等）で協力して作成するシートです。

シートを活用することによって、お子さんの個性をあらかじめ小学校に伝えることができます。

学校生活が楽しくスムーズに始められるように、ぜひこのシートを活用してください。



お子さんの氏名	ふりがな	
保護者の氏名	ふりがな	続柄
連絡先（電話）		

保護者の方が記入してから、お子さんが通っている幼稚園、保育園等に記入を依頼してください。  
療育機関に定期的に通っている方は、療育機関にも記入を依頼してください。

お子さんの氏名

就学する学校名

小学校

1 お子さんの様子について（1 支援が必要、2 一部支援が必要、3 支援の必要がない）

運 動 ・ 生 活	歩行・移動（階段の昇降など）	1	2	3	(特記事項)
	ボール投げなどの大きな動き	1	2	3	
	ハサミやひもの使用など細かい作業	1	2	3	
	衣服の着脱（ボタンやファスナーも）	1	2	3	
	排せつ（大便・小便の始末、手洗い）	1	2	3	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ・ 性 格	集団の中での指示の聞き取り	1	2	3	(特記事項)
	友達や先生との意思疎通	1	2	3	
	簡単な決まり（ルール）の理解	1	2	3	
	集団行動への参加	1	2	3	
	自分の気持ちや要求を言葉で表現	1	2	3	
	思うようにいかないときに我慢する・切替える	1	2	3	
	衝動性（安全に対する配慮）	1	2	3	
学 習	自分の名前を言う	1	2	3	(特記事項)
	自分の名前を読む・書く	1	2	3	
	10までの数を数える	1	2	3	
	鉛筆やクレヨンなどで絵や字を書く	1	2	3	
その他 支援・配慮が必要なこと					

2 保護者から学校に伝えておきたいこと、期待することなど



### 3 就学前機関（幼稚園・保育園等）記入欄

就学後も支援や指導に生かして欲しい工夫・配慮など

施設名		記入日	令和	年	月	日

### 4 療育機関記入欄

就学後も支援や指導に生かして欲しい工夫・配慮など

施設名		記入日	令和	年	月	日

私は以上の内容を了解し、就学先の学校へ提出します。

子どもの支援のために学校においてこの情報が活用されることに同意します。

《学校に提出する日》                      年    月    日

保護者氏名(自署)

保護者の皆様へ

学校は、この資料をもとに保護者の皆様と話し合いながら「学校生活支援シート（個別の教育支援計画）」や「個別指導計画」を作成するなど、入学後にお子さんが楽しく学校生活を送れるように支援していきます。

記入にあたってはポイントだけでもかまいませんし、関係書類を添付していただくことも可能です（記入欄に書ききれないときは別紙に記入して、この面に一部分を糊付けしてください）。

また、すべての欄を記入する必要はありません。今まで大切にしてきたこと、配慮してきたこと、心配なことなど学校に伝えておきたいことを記入してください。

なお、このシートは学校生活での支援のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

## 《就学支援シート「かがやき」の記入から提出するまで》

- ☆ 学務課(墨田区役所11階)や区内の幼稚園・保育園・療育機関等で配布しています。  
墨田区役所ホームページからのダウンロードも可能です。
- ☆ 学校へ提出するまでの流れ
  - ① 表紙と保護者記入欄に記入します。
  - ② 幼稚園・保育園等や療育機関等に記入を依頼します。
  - ③ 最後に保護者がシート右下の確認日(学校に提出する日)と氏名を記入します。
  - ④ 入学する学校が指定する日に学校に提出してください。

## 《就学支援シート「かがやき」をもとに》

- ☆ 学校は、保護者との個別面談を行います。
- ☆ 学校は、記入した幼稚園・保育園・療育機関等と引き継ぎを行います。
- ☆ 学校は、「個別指導計画」や「学校生活支援シート(個別の教育支援計画)」を作成します。
- ☆ 学校は、必要に応じて特別支援教育コーディネーターを中心に「特別支援教育校内委員会」でお子さんの指導方法や支援について協議します。

## 《個人情報保護について》

- ☆ 小学校は上記の目的以外では使用せず、厳重に管理します。
- ☆ 中学校進学の際には他の資料と一緒に引き継ぎますが、返却を希望する場合は小学校にお申し出ください。



〔問い合わせ先〕

墨田区教育員会事務局

学務課 給食保健・就学相談担当

電話 5608-6304